



プレスリリース

一般社団法人 日本原子力学会

日本原子力学会は、社会的関心の高い科学技術である原子力の広範囲にわたる**学術・技術専門家集団として社会への情報提供を行うため**、本会の主要な活動等について、随時プレスリリースを行っています。
今回は、「日本原子力学会シンポジウム」開催のお知らせです。

日本原子力学会シンポジウム開催のご案内 福島環境回復に向けて－5年の歩みと今後の課題－

日本原子力学会は、福島県と共同で「除染推進に向けた地域対話フォーラム」を開催し、福島県民の皆さまの放射線・放射能や除染に関する疑問にお答えする活動を行ってきました。また、「福島特別プロジェクト」を学会に設置し、除染活動支援のため「除染情報プラザ」への放射線や除染の専門家の派遣やシンポジウムの開催など、福島の皆さまにより密着した活動を行っています。

震災後5年が経とうとしており、住民の皆さまの放射線・放射能に関する知識もかなり浸透してきております。学会としましては、皆さま自身の価値判断をサポートできるような情報提供などを行っていきたくと考えています。

本シンポジウムでは、福島環境回復に向けたこれまでの活動を振り返るとともに、今後の課題についてご説明いたします。

日時:平成28年2月13日(土)13:00～16:50

場所:コラッセふくしま 多目的ホール(福島県福島市三河南町1-20) <http://corasse.com/access>

主催:日本原子力学会

後援:福島県、環境省福島環境再生事務所

協力:除染情報プラザ

参加費:無料

プログラム:

13:00 開会挨拶

13:10～13:55 空間線量と個人被ばく線量の関係

高田千恵 (保健物理・環境科学部会、日本原子力研究開発機構 バックエンド研究開発部門
核燃料サイクル工学研究所 放射線管理部線量計測課 技術副主幹)

13:55～14:40 震災後の時間経過に伴う問題の変遷と地域農業再生について

万福裕造 (国際農林水産業研究センター企画調整部技術促進科科长)

14:45～15:00 休憩

15:00～15:45 除染の進捗と廃棄物 三倉通孝 (福島特別PJクリーンナップ分科会)

15:45～16:30 長崎大・川内村復興推進拠点における放射線健康リスクコミュニケーション

折田真紀子(長崎大学医歯薬学総合研究科 助教)

16:30～16:50 福島特別プロジェクトからの提言

16:50 閉会

本シンポジウムの取材申し込みについて

2月9日(火)までに http://www.aesj.net/events/f_symp160213 または Fax03-3581-6128 にてお申し込みください。

なお、取材希望が多い場合、1社の人数を制限させていただくことがあります。